

宮崎県教育研究連合会

管理職等任用試験練習問題(2017年度版)

- 1 練習問題です。研修会までに、各自で、内容を研究しておいて下さい。研修会では、模範解答を示し、内容を検討します。ただし、問題数が多いので、全ての問題について、事前に検討する時間はないかと思います。問題に目を通すだけでも結構です。
- 2 内容を欲張りすぎたので、相当に、設問が多くなりました。また、解答欄が、狭いかも知れません。その場合は、別紙等をお願いします。
- 3 全て（校長教頭 共用）として作問してあります。しかし、設問によっては、「教頭として」等の指定があるものもあります。その場合は、各自の受験される職種に読み替えての解答をお願いします。
- 4 今回の内容は以下の通りです。最近の動向を踏まえた内容項目を中心に作問しました。
 - 1 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習指導方法の改善
 - 2 「アクティブ・ラーニング」を重視した授業改革の推進
 - 3 多様な学校課題に対応する「チーム学校」の確立
 - 4 「特別の教科 道徳」
 - 5 カリキュラム・マネジメントの確立
 - 6 障害者差別解消法の制定
 - 7 主権者教育の充実
 - 8 児童生徒関係の諸問題

1 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習指導方法の改善(1) 《校長・教頭 共用》

次期学習指導要領改訂を踏まえ、「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習指導方法の改善が求められていることに関して、次の設問に答えなさい。

- (1) 平成26年の文部科学大臣諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」において、「アクティブ・ラーニング」はどのように定義されているか、25字以内で書きなさい。
- (2) アクティブ・ラーニングが求められる背景について、あなたの考えを述べなさい。
- (3) アクティブ・ラーニングを通して、子どもたちにどのような力を育もうとしているのか。現在の子どもの課題に触れながら述べなさい。

1 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習指導方法の改善(2) 《校長・教頭 共用》

次期学習指導要領改訂を踏まえ、「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習指導方法の改善が求められていることに関して、次の設問に答えなさい。

- (4) あなたは、現任校において、アクティブ・ラーニングの趣旨を生かした授業をどのように進めますか、簡潔に説明しなさい。
- (5) 校内でアクティブ・ラーニング型授業を充実させたいが、教員によって温度差が大きい現状がある。あなたは校長としてどのような取り組みをするか、具体的に述べなさい。
- (6) ある教員から、「アクティブ・ラーニングを重視すると、基礎的・基本的な内容の確実な定着に支障が出るのではないか」と尋ねられた。校長としてどう答えるか、具体的に述べなさい。

2 「アクティブ・ラーニング」を重視した授業改革の推進 《校長・教頭 共用》

近年の教育改革の議論の中でいわゆる「アクティブ・ラーニング」という言葉が用いられ注目を集めている。これについて以下の設問に答えなさい。

- (1) あなたは、「アクティブ・ラーニング」をどのようなものであると捉えていますか。
- (2) 「アクティブ・ラーニング」が注目されるようになったのはなぜだと考えますか。
- (3) あなたは校長として、現在勤務する学校において、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の実現にむけて、どのような方策で授業改善を組織的に推進したいと考えますか。簡潔に述べなさい。

3 多様な学校課題に対応する「チーム学校」の確立《校長・教頭 共用》

次の設問に答えなさい。

- (1) 多様化する児童生徒や保護者に向き合い、複雑化・困難化した課題に対応するためには、「チーム学校」の考えの下、多様な背景を有する専門スタッフ等と学校が連携することにより、学校の教育力・組織力をより効果的に高めていくことが重要です。校長としてどのようにマネジメントしていくか、あなたが目指す学校経営の方針をふまえ、簡潔に述べなさい。
- (2) 教員の行う業務全般の中で、専門スタッフ等と学校が連携することが望ましいと考えられる業務を理由も含め、2つ答えなさい。
- (3) 「チーム学校」を推進していく上で、管理職として留意すべき点を列挙しなさい。

4 「特別の教科 道徳」(1) 《校長・教頭 共用》

次の設問に答えなさい。

- (1) 平成27年3月に学習指導要領の一部改正が告示され、「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」(道徳科)として新たに位置付けられた。
 - ① 小・中学校において「特別の教科 道徳」(道徳科)が完全実施される年度を答えなさい。
 - ② 今回の改正で「特別の教科 道徳」(道徳科)は、年間何時間以上実施するか。ただし、小芋校の第1学年を除く。
- (2) 平成27年3月に一部改正された小学校及び中学校学習指導要領の総則において、各学校においては、道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に全教師が協力して道徳教育を展開するとしている。道徳教育の全体計画に盛り込むべき事柄は何か、書きなさい。
- (3) 「特別の教科 道徳」の位置づけに係る課題を、あなたはどのようにとらえていますか。
- (4) 道徳の授業について教員を指導する場合、どのような点に留意して指導しますか。

4 「特別の教科 道徳」(2) 《校長・教頭 共用》

道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものとされている。また、平成27年3月に学習指導要領め一部改正により「道徳」を「特別の教科道徳」とすることか示された。

勤務校の実態を踏まえ道徳教育推進上の課題を明らかにし、校長として道徳教育推進体制の充実にどのように取り組むのか述べよ。次の設問に答えなさい。

(※島根県の管理職試験過去問です。)

5 カリキュラム・マネジメントの確立 《校長・教頭 共用》

文部科学省では、現在、学習指導要領の改訂に向け、精力的に検討を進めている。その中で、カリキュラム・マネジメントが重要なキーワードになっている。これについて、次の設問に簡潔に答えなさい。

- (1) あなたは、カリキュラム・マネジメントについてどのように捉えているか、簡潔に述べよ。
- (2) カリキュラム・マネジメントの重要性について、あなたはどうか捉えているか、簡潔に述べよ。
- (3) あなたは、校長として、自校の教育活動の質の向上のため、カリキュラム・マネジメントの確立にどのように取り組んでいくか、簡潔に述べよ。

6 障害者差別解消法の制定 《校長・教頭 共用》

次の設問に答えなさい。

- (1) すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とし、国や地方公共団体等に対して、障害を理由とする不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供を禁止するとともに、国や地方公共団体等の責務を明確に示した、平成25年6月に公布され平成28年4月に施行された法律の名称を書きなさい。
- (2) 上記(1)の法律では、国の行政機関や地方公共団体等及び民間事業者による「障害を理由とする差別」が禁止されているが、「障害を理由とする差別」とはどのようなことか、具体例をあげて説明せよ。
- (3) この法律で求められる「合理的配慮」について、具体的な例を二つ挙げて説明しなさい。
- (4) 「合理的配慮」について、発達障がいを含む障がいのある児童生徒に対して、学校ではどのような対応が必要と考えるか、具体的に述べなさい。

★法律用語に関しては、「障害」という標記を使っています。

7 主権者教育の充実(1) 《校長・教頭 共用》

平成27年6月に改正公職選挙法が成立し、選挙権が18歳以上に引き下げられたことを踏まえて、学校教育における主権者教育の充実が求められている。

(1) 主権者教育の目標を簡潔に述べよ。

(2) あなたは、このことをどのようにとらえ、校長として主権者教育の充実に取り組むか、現任校の実態も踏まえて述べよ。

7 主権者教育の充実(2) 《校長・教頭 共用》

次の問いに答えなさい。

- (3) 主権者教育の充実に関して、子ども達の社会参画の機会を充実させることが重要とされている。社会参画の充実に関し、重要なことを2点あげよ。
- (4) 6学年の学年主任を務める教員から、「選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから主権者教育が話題になっている。総合的な学習の時間を活用して、学年全体で主権者教育を取り入れたいと考えているが、政治的中立についてどのように考えたらよいのか不安である」という相談を受けました。教頭としてどのように対応するか、法令にも触れながら具体的に述べなさい。
- (5) 中学校3学年の生徒の保護者から、「A先生は授業中、一定の政党に対する批判を繰り返し述べているそうだが、偏った指導をそのままにしているのか」との指摘が学校に寄せられた。A教諭に確認すると、「生徒が時事問題に関心をもてるよう、教師として自らの考えを交えながら授業を行っているだけであり、偏っているとは思わない」と主張している。あなたは、教頭としてどのように対応するか、法令にも触れながら具体的に述べなさい。

8 児童生徒関係の諸問題(1) 《校長・教頭 共用》

次の設問に答えなさい。

- (1) 「連続して欠席し連絡が取れない児童生徒や学校外の集団との関わりの中で被害に遭うおそれがある児童生徒の安全の確保に向けた取組について（通知）」（文部科学省、平成27年3月31日）には、「被害のおそれ」のある児童生徒の「欠席時の対応」が示されています。「欠席時の対応」について、①管理職と、②担任及び養護教諭等、に分けて説明しなさい。
- (2) 養護教諭から、「午前中の身体計測時に、A男の背中に打撲によるとみられる黒いあざを複数確認した。計測後、どうしてこうなったのか本人に尋ねたが、何も返答しない。他の生徒にそれとなくA男について聞いてみると、他校のグループとトラブルになっているらしいという話を耳にした」との報告があった。この事例に対して、あなたは教頭としてどのような対応をしていきますか。要点を時系列で列挙しなさい。
- (3) 今年度、A中学校に入学した男子生徒Bは、5月まで制服を着用せずに私服で登校している。小学校時代に不登校だったこともあり、担任は保護者と相談をしてしばらく様子を見ていたが、ある日、制服を着ない理由を本人に尋ねると、「スカートがはきたいので、女子の制服だったら着てもいい。家では、時々、お姉ちゃん服を着ている」と話した。あなたは教頭としてどのような対応をしますか、簡潔に述べなさい。

次の設問に答えなさい。

- (4) 「性的マイノリティ」について、簡潔に説明しなさい。
- (5) 子どもの貧困対策の推進に関する法律は、子どもの貧困対策について「教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない」とその基本理念を定めています。この理念を具現化するために、学校として持つべき基本的な視点と当面の重点施策について述べなさい。
- (6) 子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的として「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が平成26年1月に施行され、平成26年8月に「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。大綱では、『『学校』を子供の貧困対策のプラットフォームと位置付けて総合的に対策を推進する』としているが、学校に求められる具体的な取り組みについて、どのようなものが考えられるか。「学校教育による学力保障」と「学校を窓口とした福祉関連機関等との連携」の観点から述べなさい。